

コメ先物 実需者向けレポート〔No.14 〕

大阪堂島商品取引所

〔公表日：2013.04.30〕

項目

1 現物受渡し等

- 1.1 本月の現物受渡し
- 1.2 現物受渡し(過去データ)
- 1.3 受渡制度等について

2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

- 2.1 ヘッジの概要
- 2.2 ヘッジ例

3 現物価格と先物価格

- 3.1 東京コメ(標準品現物価格と先物価格)
- 3.2 大阪コメ(標準品現物価格と先物価格)

4 価格調整表の使い方

- 4.1 受渡値段の算出
- 4.2 現在価値の算出

作成基準日:東京コメ2013年4月19日
 :大阪コメ2013年4月10日

参考

- 参1 取引要綱
- 参4 米穀の期日受渡しに関するタイムスケジュール
- 参5 米穀の早受渡しに関するタイムスケジュール

*本レポートに関するデータは一般紙、業界紙等の媒体を通じて公表されているものを一部使用しております。又、掲載情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。利用者がレポートの情報をを用いて行う一切の行為について本所は何ら責任を負うものではありません。記載されている内容は作成時におけるものであり、将来のいて事前の予告なしに変更される場合がありますのでご了承ください。

1 現物受渡し等

1.1 本月の現物受渡し

東京コメ

単位(枚):取引単位

限月		銘柄	取引枚数		備考	
			産地	玄米重量		
2013年 (平成25年)	4月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)	4	24トン	

大阪コメ

単位(枚):取引単位

限月		銘柄	取引枚数		備考	
			産地	玄米重量		
2013年 (平成25年)	4月限	コシヒカリ	茨城県産(未選)	4	12トン	合意早受渡し
		コシヒカリ	新潟県産(2等)	1	3トン	

先月の現物受渡し追加分(3/11~3/31)

単位(枚):取引単位

限月		銘柄	取引枚数		備考	
			産地	玄米重量		
2013年3月 (平成25年3月)	4月限	ひとめぼれ	岩手県産	3	9トン	合意早受渡し
		コシヒカリ	福島県中通り産	4	12トン	合意早受渡し
		コシヒカリ	新潟県	1	3トン	合意早受渡し うち、1.5tは2等

注1:取引枚数1枚は、東京コメは6トン、関西コメは3トンである。

注2:特に記載のない限り1等である。

1 現物受渡し等

1.2 現物受渡し過去データ(東京)

東京コメ

限月			銘柄	取引枚数		備考		
				産地	産年		玄米重量	
2011年 (平成23年)	11月	11月限	コシヒカリ	茨城県産	2011	8枚	48トン	うち、2枚(12トン)は早受渡し
			コシヒカリ	福島県会津産	2011	10枚	60トン	
	12月	12月限	はえぬき	山形県産	2011	10枚	60トン	早受渡し
			コシヒカリ	福島県中通り産	2011	112枚	672トン	
2012年 (平成24年)	1月	1月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	30枚	180トン	うち、24枚(144トン)は早受渡し
	2月	2月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	20枚	120トン	うち、14枚(84トン)は早受渡し
	3月	3月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	32枚	192トン	早受渡し
			コシヒカリ	福島県会津産	2011	18枚	108トン	
	4月	4月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	26枚	156トン	うち、8枚(48トン)は早受渡し
	5月	5月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	6枚	36トン	
	6月	6月限	コシヒカリ	福島県浜通り産	2011	2枚	12トン	合意早受渡し
			コシヒカリ	福島県会津産	2011	48枚	288トン	うち、22枚(132トン)は早受渡し
			コシヒカリ	新潟県産	2011	8枚	48トン	うち、2枚(12トン)は早受渡し
	7月	7月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	28枚	168トン	早受渡し
			コシヒカリ	新潟県産	2011	12枚	72トン	
			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2011	2枚	12トン	
	8月	8月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	14枚	84トン	
	9月	9月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	10枚	60トン	
	10月	10月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	6枚	36トン	
			コシヒカリ	新潟県産	2012	12枚	72トン	
			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	18枚	108トン	
11月	11月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	8枚	48トン		
		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	18枚	108トン		
12月	12月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	4枚	24トン		
2013年 (平成25年)	1月	1月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2012	2枚	12トン	合意早受渡し
			コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	12トン	
	2月	2月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	2枚	12トン	
	3月	3月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	12トン	
	3月	3月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	10枚	60トン	
4月	4月限	コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	4枚	24トン		

1 現物受渡し等

1.2 現物受渡し過去データ(大阪)

大阪コメ

限月			銘柄			取引枚数		備考
						産地	産年	
2011年 (平成23年)	11月	11月限	コシヒカリ	埼玉県産	2011			10枚
			コシヒカリ	福島県会津産	2011	4枚	12トン	
	12月	12月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	5枚	15トン	
2012年 (平成24年)	1月	1月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	39枚	117トン	
			コシヒカリ	福島県中通り産	2011	17枚	51トン	
		2月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	76枚	228トン	うち、76枚(228トン)は早受渡し
	2月	2月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	52枚	156トン	うち、2枚(6トン)は早受渡し
			コシヒカリ	福島県中通り産	2011	14枚	42トン	うち、7枚(21トン)は早受渡し
	3月	3月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	18枚	54トン	
			コシヒカリ	福島県中通り産	2011	12枚	36トン	うち、4枚(12トン)は早受渡し
		4月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	4枚	12トン	うち、4枚(12トン)は早受渡し
	4月	4月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	5枚	15トン	
			コシヒカリ	福島県会津産	2011	20枚	60トン	
	5月	5月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2011	1枚	3トン	
			コシヒカリ	福島県会津産	2011	8枚	24トン	
			コシヒカリ	埼玉県産	2011	1枚	3トン	
	6月	6月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	10枚	30トン	
	7月	7月限	コシヒカリ	福島県会津産	2011	2枚	6トン	
	8月	8月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	4枚	12トン	うち、2枚(6トン)は早受渡し
			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2011	2枚	6トン	うち、1枚(3トン)は早受渡し
	10月	10月限	コシヒカリ	新潟県産	2011	28枚	84トン	
コシヒカリ			新潟県産	2012	4枚	12トン		
コシヒカリ			石川県産	2012	16枚	48トン	うち、16枚(48トン)は早受渡し	
11月	11月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	25枚	75トン		
12月	12月原	コシヒカリ	新潟県産	2012	1枚	3トン		
2013年 (平成25年)	1月	1月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	2枚	6トン	
			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	2枚	6トン	
	2月	2月限	コシヒカリ	新潟県産	2012	3枚	9トン	
			コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	1枚	3トン	
		3月限	コシヒカリ	福島県中通り産	2012	8枚	24トン	合意早受渡し
	3月	4月限	ひとめぼれ	岩手県産	2012	3枚	9トン	合意早受渡し
			コシヒカリ	福島県中通り産	2012	4枚	12トン	合意早受渡し
			コシヒカリ	新潟県産	2012	1枚	3トン	合意早受渡し うち、1.5tは2等
4月	4月限	コシヒカリ	茨城県産(未選)	2012	4枚	12トン	合意早受渡し	
		コシヒカリ	新潟県産(2等)	2012	1枚	3トン		

1 現物受渡し等

1.3 現物受渡し制度等(解説)

【期日受渡し】

期日受渡しは、受渡しの基本的な方法で、取引所が指定する営業倉庫が発券する「倉荷証券」を用いて行います。渡方は、取引所に「倉荷証券」を持ち込み、受方は取引所に「受渡代金」を納め、取引所がこれらを仲介して、受渡しを完了させます。

【早受渡し】

早受渡しとは、受渡日以前でも、取引所に希望条件(年産・産地品種銘柄・等級等)を申し出ることによって、受渡しを可能(早受希望・早渡希望)にする制度です。この希望条件は公表され、応諾する方があれば、受渡しが成立します。(受渡しの流れは期日受渡しと同様です。)

【合意受渡し】

渡方と受方が合意することを条件に、双方の責任の下、自由に受渡しをする制度です。この制度を利用すれば、倉荷証券以外の受渡方法や、受渡供用品以外のコメを対象とするなど、双方が使い易い受渡条件の下で受渡しをすることが可能になります。

【早合意受渡し】

受方と渡方が合意することを条件に、新甫発会日の翌営業日から納会日の前営業日までのおよそ半年間にわたり、いつでも受渡しを行うことができる制度です。この制度を利用すれば、倉荷証券以外の受渡方法や、受渡供用品以外のコメを対象とするなど、双方が使い易い受渡条件の下で受渡しをすることが可能になります。

【EFP取引】

現物を扱う実需者は、市場外で行った現物売買契約をもとに、合意に基づくEFP取引の申し出(先物市場における同一価格、同一限月、同一数量の売注文及び買注文)を取引所に行うことで、先物市場での取引を成立させることが可能となります。

EFP取引は、(1)先物市場で効率的なヘッジ取引(又は市場離脱)を実現、(2)オーダーメイドの受渡しを実現する等、実需者にとっては非常に利便性の高いシステムです。

2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

2.1 ヘッジの概要

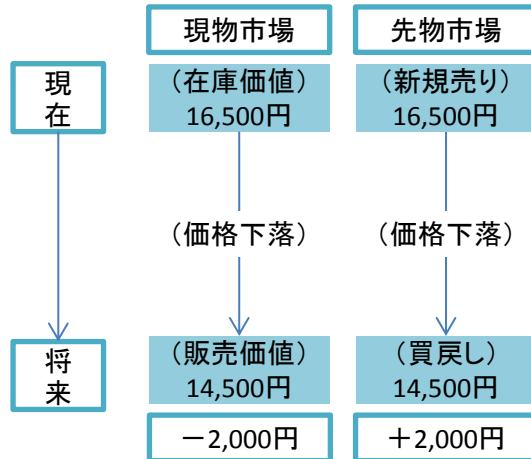
【ヘッジ】

ヘッジとは、先物市場を利用することで、将来の価格変動による損失を最小限に抑えようとするリスクマネジメント手法の一つであり、いわば価格変動リスクに対する**保険機能**とご理解ください。

具体的には、在庫価値等の減少に備えるなら「**売りヘッジ**」、仕入れコストの高騰に備えるなら「**買いヘッジ**」で対応します。

現物市場と先物市場の損益を合計することでリスク相殺をすることが出来ます。

以下は、将来のコメ価格の下落リスクに備えた「**売りヘッジ**」を表しています。



※買いヘッジは、上記の逆となります。

納会を終えたばかり東京コメ2013年4月限のデータに基づき計算した、建玉1枚(=コメ6000kg)あたりの取引例となります。

もし「買いヘッジ」をしていれば・・・

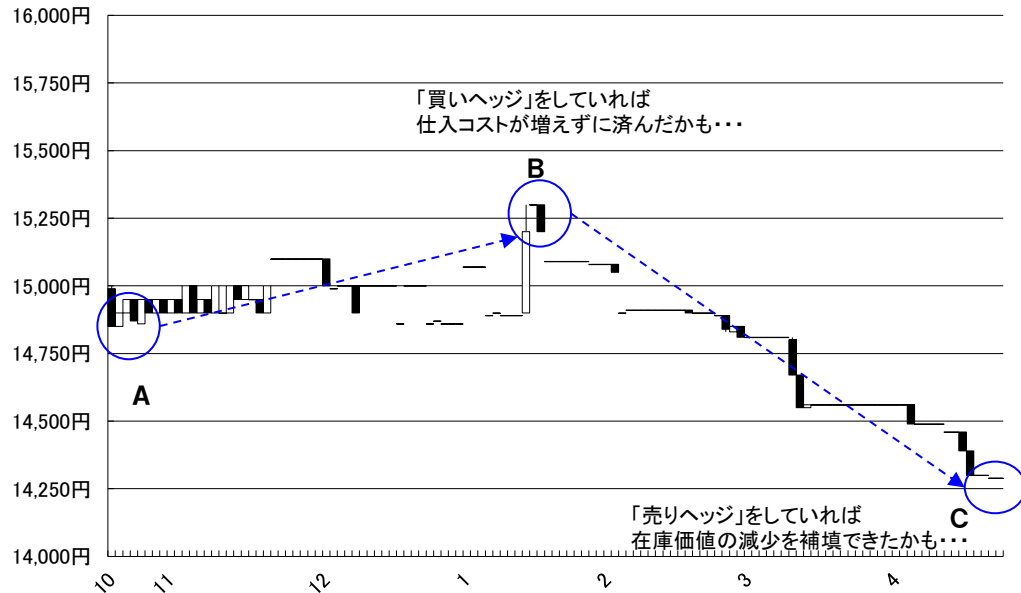
もし「売りヘッジ」をしていれば・・・

	2013年04月限
新甫発会値	14,990円
高値	15,300円
安値	14,290円
納会値	14,290円

日付(取引区分)	約定値
A '12.10.22 (新規買い)	14,850円
B '13.1.17 (転売)	15,300円
騰落率	3.0%
決済差金 (1俵)	450円
A-B (1枚)	45,000円

日付(取引区分)	約定値
B '13.1.17 (新規売り)	15,300円
C '12.4.28 (買戻し)	14,290円
騰落率	-6.6%
決済差金 (1俵)	1,010円
C-B (1枚)	101,000円

※1俵は60kgあたりの差益、1枚は6000kgあたりの差益のこと。

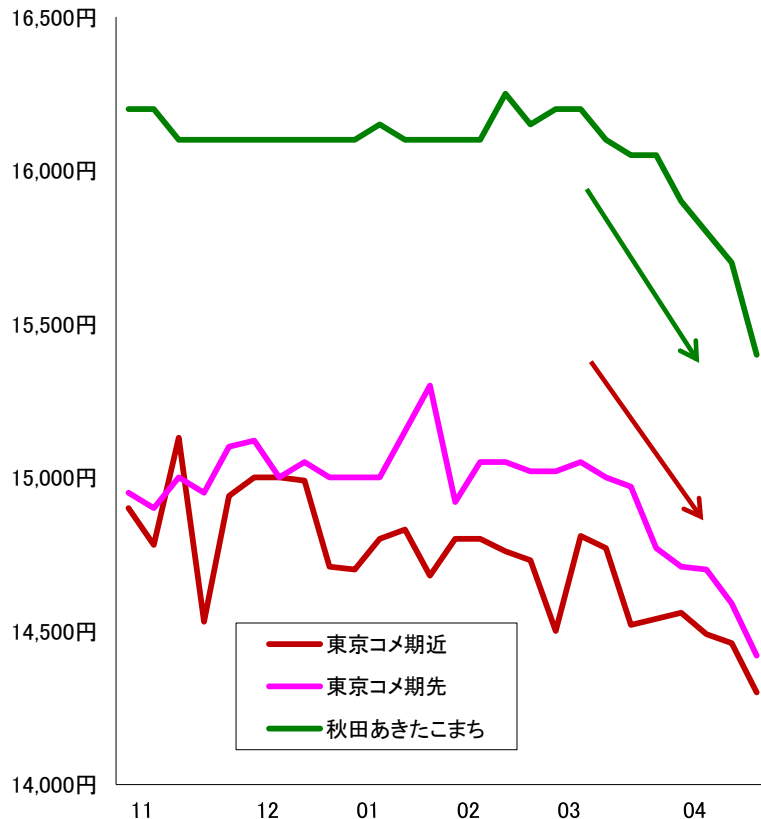


2 ヘッジ(価格変動リスクに備える)

2.2 ヘッジ例

東京コメは、全国のコシヒカリ及びコシ以外の本所指定のコメを受渡の対象としています。ここでは、コシヒカリ以外の現物相場(秋田県産あきたこまち)と先物相場の関係性を見ながらヘッジシミュレーションを行うこととします。

秋田あきたこまち



'12年10月～'13年4月の間の東京コメと秋田あきたこまちの価格データ(週間中央値、26週分)をもとに関係性を見ていくこととします。

両者の価格相関は、東京コメ期近0.60、東京コメ期先0.89となっています。また、直近12週の期間騰落率は、秋田あきたこまち-4.3%、東京コメ期近-3.4%、東京コメ期先-3.8%となっています。

左グラフ(価格推移)によると東京コメと秋田あきたこまちのトレンドは近似しているように見えることから、秋田あきたこまちの価格変動リスクに対し、コメ先物取引は一定のヘッジ機能があると考えられます。

下表は、'13年1月～'13年4月のデータ(16週分)をもとに作成した「秋田あきたこまち」の売りヘッジ計算例となります。

	現物相場	先物相場	
	秋田あきたこまち	東京コメ(期近)	東京コメ(期先)
'13年1月	16,150円	14,800円	15,000円
[第1週]	[在庫評価]	[売りヘッジ]	[売りヘッジ]
'13年04月	15,400円	14,300円	14,430円
[第3週]	[現物販売]	[差金決済]	[差金決済]
損益	-750円	500円	570円
騰落率	-4.6%	-3.4%	-3.8%

※買いヘッジは、上記の逆となります。

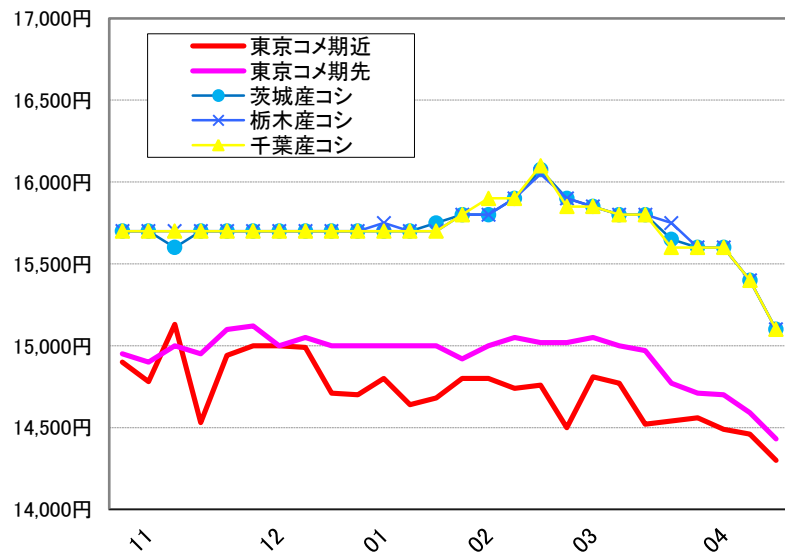
「秋田あきたこまち」の売りヘッジに東京コメ先物を利用した結果・・・在庫価値の減額分(-750円)を先物差金(期近500円、期先570円)で補うことができました

上記のヘッジ例は、コシヒカリ以外のコメのヘッジに東京コメが対応できるか否かを見ています。但し、任意のヘッジ対象品種銘柄と東京コメの関係性については、計測期間によって変化するため、直近の状況だけでなく、中長期的な観察が必要であると考えています。

3 現物価格と先物価格

3.1 東京コメ(標準品現物価格と先物価格)

価格推移(週間)



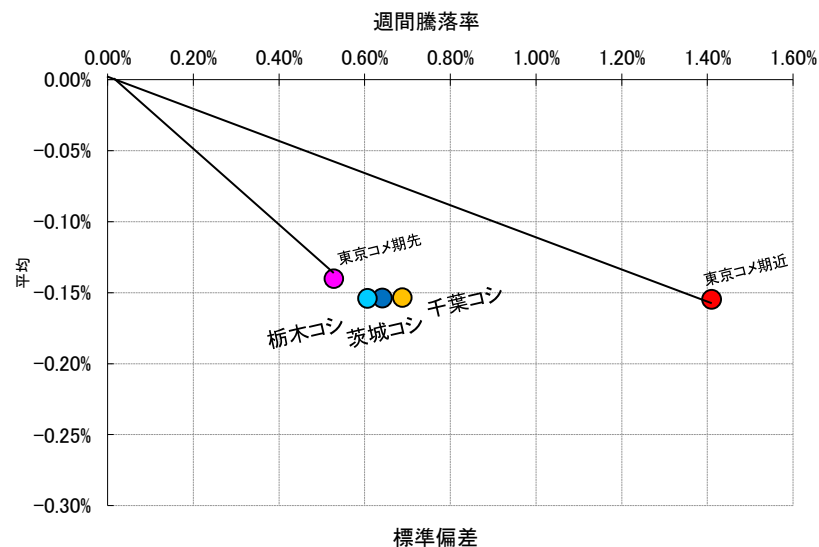
直近の価格推移(左上)によると、東京コメ期近は茨城コシ、栃木コシ及び千葉コシ(標準品)より、800円下に位置し、期先に対しては680円下に位置しています。

直近6か月間の週間騰落率(右下)によると、茨城コシ、栃木コシ、千葉コシ及びコメ先物の騰落率(平均)は前月よりマイナス幅を広げ、茨城コシ、栃木コシ、千葉コシ及び期先はマイナス圏に転じています。

直近の期間騰落率(左下)によると、茨城コシ、栃木コシ、千葉コシの及び先物の価格は下落基調にあるようです。

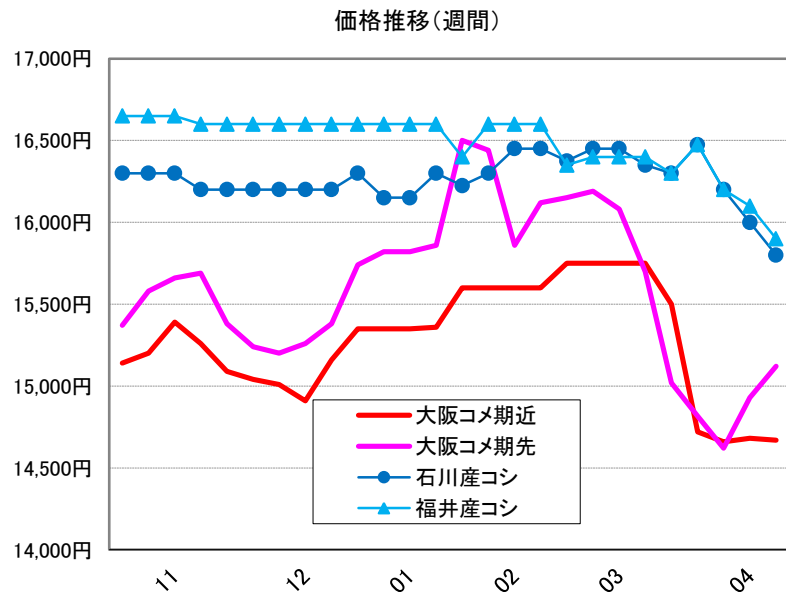
直近の期間騰落率(基準:'13年4月第3週)

	4週	8週	12週	24週
東京コメ期近	-1.8%	-3.4%	-3.4%	-5.5%
東京コメ期先	-1.9%	-4.1%	-3.8%	-3.8%
茨城産コシ	-3.2%	-4.7%	-4.4%	-3.2%
栃木産コシ	-3.2%	-4.7%	-4.4%	-3.8%
千葉産コシ	-3.2%	-4.7%	-5.0%	-3.8%



3 現物価格と先物価格

3.2 大阪コメ(標準品現物価格と先物価格)



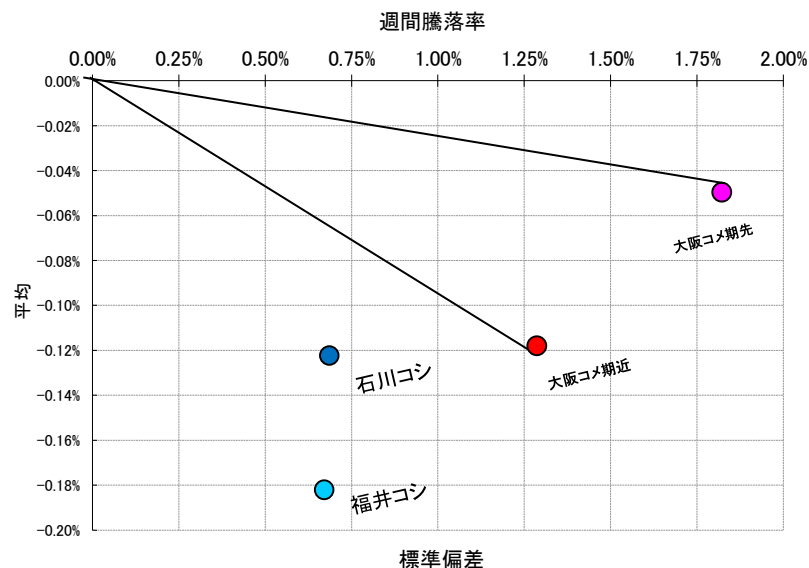
直近の価格推移(左上)によると、大阪コメ期近は、石川コシ(標準品)より1,130円下、期先は680円下に位置し、福井コシ(標準)に対しては、期近が1,230円下、期先が780円下に位置しています。

直近6か月間の週間騰落率(右下)によると、石川、福井両県のコシヒカリ及びコメ先物の騰落率(平均)は、先月からマイナス幅を広げています。また、福井コシとコメ期近はマイナス圏に転じています。

直近の期間騰落率(左下)によると石川、福井両県のコシヒカリ及びコメ先物価格は、下落基調が見受けられますが、期先については、上昇傾向が伺えます。

直近の期間騰落率(基準: '13年4月第2週)

	4週	8週	12週	24週
大阪コメ期近	-0.3%	-6.9%	-6.0%	-4.7%
大阪コメ期先	2.1%	-6.6%	-8.0%	-3.4%
石川産コシ	-4.1%	-4.0%	-3.1%	-3.1%
福井産コシ	-3.5%	-3.0%	-4.2%	-4.5%



4 価格調整表の使い方

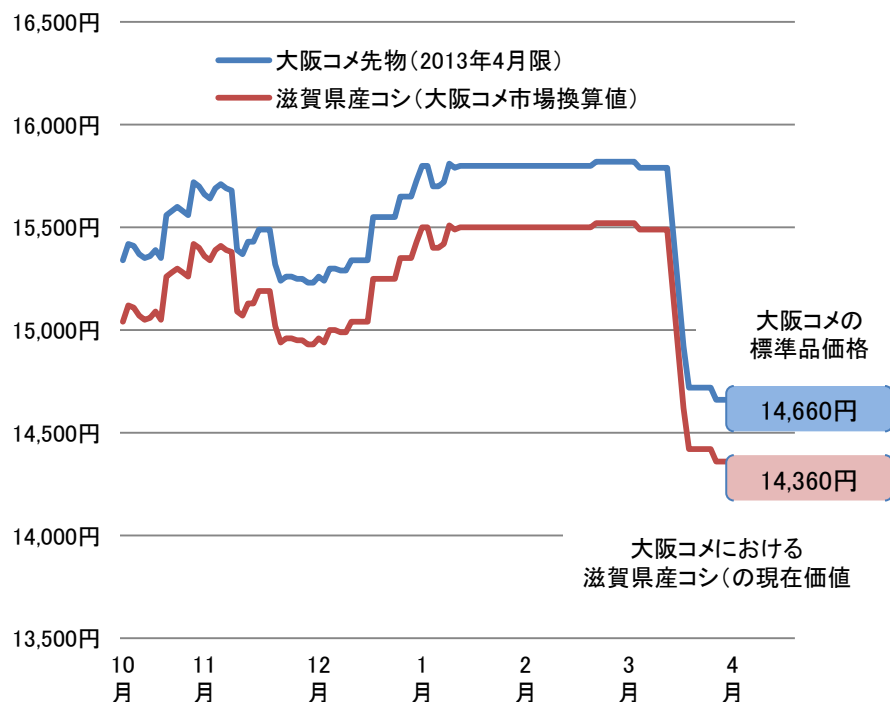
4.1 受渡値段の算出

大阪コメの先物価格を基に〇〇県産コシヒカリの価格(現在価値や受渡値段)を算出する。

- ・大阪コメの先物価格(60kgあたり)は、標準品を「石川県産及び福井県産のコシヒカリ」としています。
- ・先物取引は限月取引(最終期限がある取引)です。各限月の納会値段は標準品の受渡値段となります。
- ・標準品以外のコシヒカリを受渡する場合は、本所が定める価格調整表に則って受渡値段を決定します。
- ・例えば、「2012年(平24)年産1等・滋賀県産コシヒカリ」の受渡値段なら、大阪コメの納会値段から300円の減額をします

4.2 現在価値の算出

【参考】価格調整表より一部抜粋(平成24年産1等)



東京コメ				大阪コメ			
産地	品種銘柄	調整額 a	調整額 b	産地	品種銘柄	調整額 a	調整額 b
茨城	コシヒカリ	標準品	標準品	石川	コシヒカリ	標準品	標準品
栃木				福井		標準品	標準品
千葉				新潟		1,300	800
福島 会津				福島 会津		100	100
福島 中通り				福島 中通り		-1,000	-1,000
福島 浜通り				福島 浜通り		-1,000	-1,000
新潟				茨城		-800	-800
富山				栃木		-800	-800
石川				千葉		-800	-800
福井				長野		-200	-200
長野	富山	100	100				
その他府県	三重	-300	-300				
岩手	ひとめぼれ	-400	-200	滋賀		-300	-300
宮城		-400	-200	京都		-300	-300
秋田	あきたこまち	-200	0	兵庫		-300	-300
山形	はえぬき	-600	-200	鳥取		-300	-300
北海道	ななつぼし	-1,000	-500	島根		-300	-300
	きらら397	-1,000	-500	岡山		-300	-300
青森	つがるロマン	-1,000	-500	山口		-300	-300
	まっしぐら	-1,000	-500	熊本		0	0
				その他府県産		-900	-900

調整額 a: 2013(平25)年4月限~6月限迄適用

調整額 a: 2013(平25)年7月限~9月限迄適用

調整額 a: 2013(平25)年4月限~6月限迄適用

調整額 a: 2013(平25)年7月限~9月限迄適用

参 考

参1 取引要綱

東京コメ

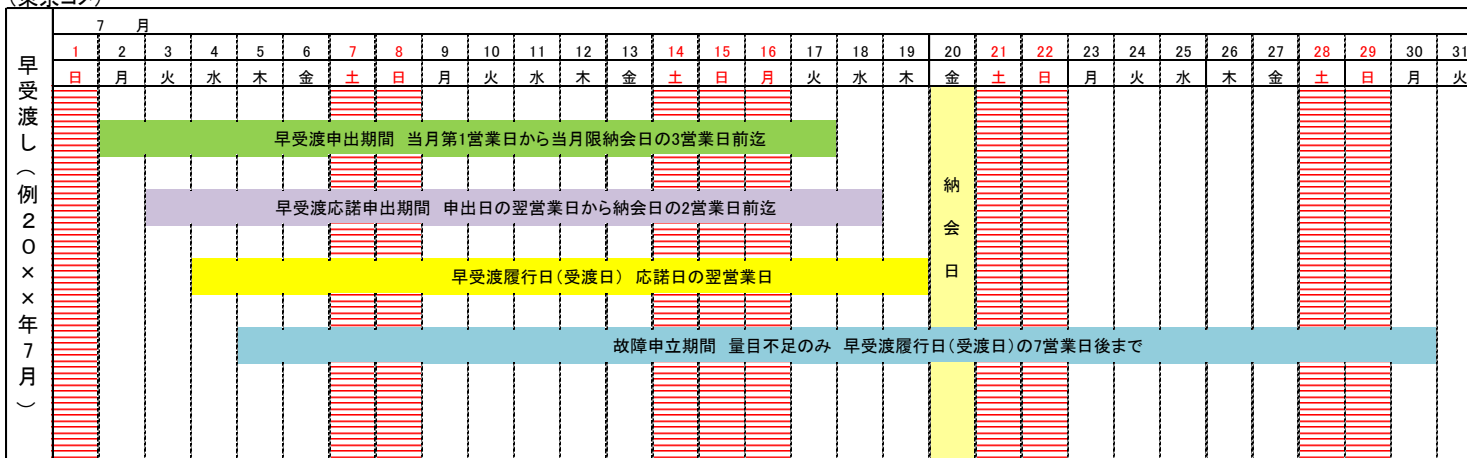
大阪コメ

市 場	農産物市場	農産物市場
商 品	東京コメ	大阪コメ
標 準 品	コシヒカリ(茨城県産、栃木県産及び千葉県産)のうち、米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律(平成21年法律第26号)に基づく記録がなされかつ産地情報の伝達が可能な米穀であって、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等合格品	コシヒカリ(石川県産及び福井県産)のうち、米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律(平成21年法律第26号)に基づく記録がなされかつ産地情報の伝達が可能な米穀であって、農産物検査法に基づく検査規格水稲うるち玄米1等合格品
受 渡 供 用 品	コシヒカリ(福島(中通り・浜通り・会津)、新潟、富山、石川、福井、長野、その他府県産)、ひとめぼれ(岩手、宮城)、あきたこまち(秋田)、山形はえぬき、北海道ななつぼし・きらら397、青森つがるロマン・まっしぐら	コシヒカリ(新潟、福島(会津・中通り・浜通り)、茨城、栃木、千葉、長野、富山、三重、滋賀、京都、兵庫、鳥取、島根、岡山、山口、熊本、その他府県産)
売 買 仕 法	システム売買による単一約定値段による競争売買(板寄せ)	システム売買による単一約定値段による競争売買(板寄せ)
限 月	6か月以内の各限月(連続6限月制)	6か月以内の各限月(連続6限月制)
納 会 日	当月限の属する月の20日(毎月20日、当日が休業日の場合は繰り上げる。)	当月限の属する月の10日(毎月10日、当日が休業日の場合は繰り上げる。)
新 甫 発 会 日	当月限納会日の翌営業日	当月限納会日の翌営業日
受 渡 日	納会日の5営業日後	納会日の5営業日後
受 渡 方 法	① 期日受渡し ② 早受渡し ③ 合意受渡し ④ 合意早受渡し	① 期日受渡し ② 早受渡し ③ 合意受渡し ④ 合意早受渡し
受 渡 場 所	① 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県及び北海道に所在する指定倉庫 ② 受渡当事者の合意に基づく受渡場所	① 大阪府、兵庫県、京都府及び奈良県に所在する指定倉庫 ② 受渡当事者の合意に基づく受渡場所
立 会 時 刻	前場、第1節(9:00)、第2節(10:00)、第3節(11:00) 後場、第1節(13:00)、第2節(14:00)、第3節(15:00) 計6回	前場、第1節(9:10)、第2節(10:10)、第3節(11:10) 後場、第1節(13:10)、第2節(14:10)、第3節(15:10) 計6回
取 引 単 位	6,000kg(100俵・200袋)	3,000kg(50俵・100袋)
受 渡 単 位	12,000kg(200俵・400袋) ※早受渡しについては6,000kg(100俵・200袋)も可。	3,000kg(50俵・100袋)
呼 値 及 び 呼 値 の 単 位	1俵(60kg) 10円刻み	1俵(60kg) 10円刻み
値 幅 制 限	① 値幅制限額:300円 ② 値幅制限額の拡大について 最終節に2限月以上(当限除く)、値幅制限に達した場合、値幅制限額300円に100円を加算した額400円を翌営業日の制限額とし、連続2営業日続いた場合は更に100円を加算した額500円とし、当該状況が継続する限り同様とする。翌日、最終節に2限月以上(当限除く)値幅制限額に達しなかった場合には、段階的に400円、300円と戻すものとする。 ③ 値幅制限の解除 当月限納会日の属する月の11日以降	① 値幅制限額:300円 ② 値幅制限額の拡大について 最終節に2限月以上(当限除く)、値幅制限に達した場合、値幅制限額300円に100円を加算した額400円を翌営業日の制限額とし、連続2営業日続いた場合は更に100円を加算した額500円とし、当該状況が継続する限り同様とする。翌日、最終節に2限月以上(当限除く)値幅制限額に達しなかった場合には、段階的に400円、300円と戻すものとする。 ③ 値幅制限の解除 当月限納会日の属する月の1日以降
ハナ上げ枚数	1番限は100枚以内、2番限以降は200枚以内。	1番限は100枚以内、2番限以降は200枚以内。
証 拠 金	㈱日本商品清算機構(JCCH)が決定。 http://www.jcch.co.jp/span/?po=1	㈱日本商品清算機構(JCCH)が決定。 http://www.jcch.co.jp/span/?po=1

参 考

参3 米穀の早受渡しに関するタイムスケジュール

(東京コメ)



(大阪コメ)

